

「2026 日本パッケージングコンテスト」において 「ラベルレスロック構造梱包箱」が工業包装部門賞を受賞

MDロジス株式会社(本社:東京都中野区、代表取締役社長 小西雅彦)は、公益社団法人日本包装技術協会(JPI)主催の「2026 日本パッケージングコンテスト」において、当社が開発した「ラベルレスロック構造梱包箱」が「工業包装部門賞」を受賞したことをお知らせいたします。

日本パッケージングコンテストは、我が国の優れたパッケージングとその技術の開発・普及を目的として開催される国内有数のコンテストです。

今回の受賞は、封止ラベルを使用せず未開封保証を実現する独自構造により、品質保証、環境負荷低減、包装作業効率化を同時に実現した点が高く評価されたものです。

■ 受賞作品概要

作品名 ラベルレスロック構造梱包箱
受賞部門 工業包装部門賞

■ 開発の背景

近年、電子機器をはじめとする高付加価値製品では、輸送・保管時における未開封保証への要求が高まっています。

従来は封止ラベルによる封緘が一般的でしたが、

- ・ 封止ラベルに伴う資材コスト
- ・ 樹脂材料使用による環境負荷
- ・ ラベル剥離による品質保証リスク
- ・ 貼付け作業による工数増加

などの課題がありました。

MDロジスでは、これらの課題を根本から解決するため、「封緘機能そのものを包装構造へ組み込む」という発想で、新たな包装構造を開発しました。

■ 受賞技術の特長

1. 封止ラベルを不要とする独自ロック構造

段ボール箱の底面およびフタ部に独自のロック機構を設けることで、封緘機能を包装構造そのものに組み込みました。

一度開封すると元の状態へ戻せない不可逆構造により、高い未開封保証を実現しています。

2. 環境負荷の低減

封止ラベルや樹脂部材を使用せず、段ボールのみで構成する包装設計を採用しました。
これにより、

- ・ 資材使用量の削減
- ・ プラスチック使用量の削減
- ・ 封止ラベル台紙廃棄削減
- ・ 廃棄時の分別負荷軽減

を実現し、環境負荷低減に貢献します。

3. 包装工程の効率化とコスト削減

封止ラベル貼付工程を不要とすることで、

- ・ 包装作業の省力化
- ・ 作業品質の安定化
- ・ 資材費削減

を実現し、包装工程全体の効率向上へ寄与します。

■ MDロジスの包装技術

MDロジスでは、物流を単なる「運ぶ機能」ではなく、お客様の製品価値を高める重要なソリューションと位置付けています。

今回受賞した技術も、包装資材の見直しにとどまらず、お客様が抱える品質保証、環境対応、コスト最適化といった複数の経営課題を同時に解決することを目指して開発しました。

MDロジスは、「こころを動かし、よろこびを届ける。」をブランドビジョンに掲げ、これまで培ってきた信頼と挑戦を礎に、only one の物流の創造に取り組んでいます。物流現場で培った知見と包装設計技術を融合させることで、お客様に新たな価値を提供し続けてまいります。

■ 今後の展望

本技術は、電子機器をはじめとする高い品質保証が求められる製品分野への適用が可能です。

MDロジスは、今後も包装設計から保管・輸送までを一体で最適化するソリューションを提供し、お客様の企業価値向上に貢献してまいります。

そして、物流の本質を見つめながらお客様ごとに異なる課題に向き合い、MDロジスだからこそ実現できる価値を創出することで、社会に感動とよろこびを届ける企業を目指してまいります。

お問合せ先

MDロジス株式会社 総務部 総務グループ
TEL:03-6777-9900